

## JA北つくば



北つくば農業協同組合は、筑西市、結城市、桜川市の3市にまたがった広域JAです。関東平野のほぼ中央、紫峰筑波山を南東に臨む茨城県の南西部に位置します。東京から60km~80km圏内にあります。年間平均気温は13℃~14℃と温暖な気候で、年間降水量は1,300mm前後と恵まれており、管内を流れる一級河川（鬼怒川・小貝川・桜川・五行川）は、豊富な水量を誇ります。河川地域の水田地帯は、沖積土壌。畑作地は関東ローム層に属し、この豊かな大地と恵まれた環境が、自慢の穀物（コシヒカリ、小麦、大豆、常陸秋そば）をはじめとし青果（こだま西瓜、幸水・豊水梨、トマト、キュウリ、白菜、レタス、イチゴ、花卉類）、畜産（豚、牛）と100種類を超える農産物を産出します。

## JA北つくばの花

北つくばの花は、84名の生産者で栽培しています。

小菊・アスターを中心に約30品目の花を栽培し、昨今の異常気象に負けないため現地講習会や栽培講習会を開催し栽培するための努力をしています。

皆様にきれいな花を提供できるよう日々努力をしています。



私たちが花を栽培しています。

## 小菊



茨城県の主要品目でありJA北つくば花での管内最大の品目で年間生産量約250万本を出荷しJAグループとしては、県内で4番目の出荷量を誇ります。全量開封検査を実施し品質安定に努めています。また、茨城県オリジナル品種（常陸シリーズ）も取り組んでいます。

出荷時期：5月～12月



JA北つくばの花

## アスター



JA北つくばのアスターに関しては、夏秋栽培としては、生産量日本一の産地で、年間約30万本の出荷数量があり品種はサカタのタネの松本シリーズ、あずみシリーズを栽培。

連作できない事もあり、広大な耕地が必要となります。

出荷時期：6月～8月



JA北つくばの花

## トルコギキョウ



高度な栽培技術を要する品目である。年間約6万本の出荷だが、当JAは6月が出荷ピーク。技術統一を図り、ブランド産地化を目指す。圃場でのフォーメーションづくりを徹底することで高品質化を図っている。品種は、サカタ、カネコの品種を中心に栽培。

JA北つくばの花

## ひまわり



出荷数量は約15万本で多肥を嫌う品目。出荷の時多少手間が食うのが難点。品種はサンリッチ及びビンセントシリーズを栽培。また、小輪系のひまわりも栽培。

JA北つくばの花